

『特定健診・がん検診を受けましょう』

京浜診療所所長・大森中診療所健診センター長
今井 保

医療には治療医学と予防医学があります。頭が痛い、お腹が痛い、熱があるなど、何らかの自覚症状があり医療機関を受診し、診察・検査結果に基づき病気の治療を行うのが治療医学です。これに対して、とくに自覚症状はないけれども、現在の身体状況をチェックし、病気にならないようにするのが予防医学です。

＜健診・健診のすすめ＞

今回、皆さまにお勧めする健診、検診は予防医学です。全身の健康状態を診査するのが健診、ある疾患の有無につき検査するのが検診です（肺がん検診、胃がん検診など）。健診では現在の身体状況で5年後、10年後も健康な状態でいられるのかを含めて評価します。したがって治療医学ではOKである検査結果でも、受診者様に注意を促す目的でoutとする場合があります。

例えば悪玉コレステロールであるLDLコレステロールは治療医学では139mg/dlまでが基準範囲ですが、予防医学では119mg/dl以下が望ましく120mg/dlを超えると高目ですと評価します。すぐに内服治療を開始する必要はないけれども、ライフスタイルの改善を進言することとなります。

＜予防医学も重要＞

わが国は国民皆保険制度ですが、このような制度の無い諸外国では、病気になってしまうと高額な治療費が必要となります。そのため少々費用がかかっても、健診の受診率は、日本と比較して非常に高率です。わが国では、国民医療費増大抑制の目的もあり、国民の健診受診率を高めようとの働きかけが急速に増しています。これまでの医療では治療医学が重要視されていましたが、これからの医療では治療医学と予防医学が両輪となる必要があると言われてしています。

＜いつまでも健康で過ごせるように＞

6月から区民健診（特定健診・国保基本検診・長寿健診・後期高齢者検診）が、7月からはがん検診がはじまります。対象の方は助成により、無料または低額で受診できます。また以前、大田区のがん検診は各医療機関に検診割当数があったため先着順でしたが、昨年度からは検診期間中であれはご希望の方すべてに受診していただくことが可能となりました。

ご自身だけでなく、ご家族のためにも、健康で過ごせるように、また今後も元気で仕事を続けられるよう、ぜひ健診・検診を受けましょう！